

## 2013年度 第5回 煙制御計画小委員会 議事録(案)

記録担当 中濱

A. 日 時 2013年9月27日(金) 18:00~19:55

B. 場 所 建築会館 B1A 会議室

C. 出席者 山田主査, 森山, 山名, 峯岸, 鈴木, 油野, 平田, 中濱

計8名(順序不同, 敬称略)

### D. 提出資料

No. 5-1: 2013年度 第5回 煙制御計画小委員会 議事次第, 他(山田主査)

No. 5-2: 第4回煙小委議事録(案)(中濱)

No. 5-3: 特集: 最近の煙制御について(鈴木委員)

\* 改訂煙本の査読回答書は, プロジェクターにて表示させて審議を進めた。

### E. 審議事項

#### 1. 前回議事録案の確認・各種報告(資料 No. 5-1~5-2)

- ・「AIJ 大会梗概での発表分類の細々分類は去年見直され, 本小委では変更なしとの対応とした」に修正する。その他は特に修正なく, 了承された。
- ・2014年度 AIJ 大会 OS テーマは, 「煙の水平・垂直方向及び室間移動時の流動性状」を予定。4編程度集まればよい。本小委では, 鈴木委員や山口委員の発表が可能予定。
- ・研究協議会は今年, 火災安全小委と共同で実施したため, 次年度は頑張らなくても良いかも。もし, テーマがあれば次回の委員会にて提案する。
- ・煙指針案について, 9/24~25 頃に事務局の森田氏にメールで質問が来た。質問内容は SP 設備等の消火設備起動時の煙発生量であった。回答案を山田主査が作成する(10/1 に回答案のメールがあった。10/7 までに修正点があれば連絡する)。
- ・改訂煙本の講習会は, 第1希望: 3月6日(木), 第2希望: 3月5日(水)を予定。発表スケジュールでは質疑無しに変更。発表人数・時間は変更なし。再度, 山田主査が案を作成する。前回の講習会のチラシを森山委員から山田主査に送付する。

#### 2. 火災誌原稿「最近の煙制御について」(資料 No. 5-3)

- ・鈴木委員から, 火災誌 10月号特集「最近の煙制御について」の前文について報告があった。
  - ・本来は火災学会関係者で執筆すべきところ, 本小委の委員を中心とした執筆である点を記載したが, 本小委の名称は記載すべきか。
- 絶対に記載して欲しいという訳ではないが, 執筆依頼があったので, このままの記載とする。
- ・火災誌 10月号は 10月末に会員に配送予定。他 5編の原稿も 9月末を目途に執筆する。

#### 3. 改訂煙本の査読回答対応

- ・4名(上原氏, 笠原氏, 矢代氏, 松山先生)の査読者から指摘事項が届いた。各章の状況・対応を次頁にまとめる。

## < 第 1 章 >

- ・ 1 章の修正が大変と思われる。分担できるところは協力して対応する。
  - ・ 表 1.1.2 は鈴木委員，上原氏の表 1.1.1 と 1.1.2 を対応しない理由は，山田主査が対応。
  - ・ 川崎金井ビル火災は，排煙設備の規定化に繋がった火災である。この火災の概要は，山名委員が調べる（10/1 付のメールで資料が送付済）。
- （後日，長岡委員から委員会用オンラインストレージに査読回答書案を保管したとの連絡あり）。

## < 第 2 章 >

- ・ 排煙においては，不燃区画でも対応可能である旨，書きっぷりを変えた。
- ・ 火災成長率の記述を加えた。内容不足の場合，第 5 章でさらに書いてもらう。
- ・ 表記の変更：負圧→マイナス圧，「階段室」や「階段室加圧」に統一（文脈上，階段 or 階段室どちらでも良い場合，階段室に統一する）。
- ・ 同じ記号の表記（例： $\alpha$ ，火災成長率 or 流量係数）の表記を変更するのは不便。特に変更はしない。同じページに記載する場合，内容をきちんと書く。
- ・ 避難検証法の結果がある天井高で逆転する旨，不要との指摘であったが，注意喚起のため残す。
- ・ 単位は[]で統一した。

## < 第 3 章 >

- ・ 不燃壁+防火設備，(4)の部分に 2~3 行で記述する。
- ・ 狭いボイド空間での給気口の設置について，前後の文章を見て書き直す。
- ・ 厨房と駐車場の排煙別系統について，根拠を明確に記述することは難しい。この記述は削除。
- ・ 2 時間耐火といった具体的時間は示さず，耐火被覆のみの記述とする。
- ・ 空調兼用排煙は，排煙口が常時閉でなければルート C でも対応可。
- ・ 節タイトルの「第 1 次安全区画」は削除する。
- ・ 表記変更：エレベータ→エレベーター

## < 第 4 章 >

- ・ 特に大変な修正点の指摘は無かった。
- ・ 自然排煙の方が効率的という内容に変更した（p. 177）。

## < 第 5 章 >

- ・ 序文に，研究の方向性を 2 行程度加えた。
- ・ 発熱速度のグラフを加えた（図 5.1.3）。
- ・ 質量保存則を基礎式（p. 226）に加えた方が良いとの指摘であるが，流れの式に質量保存則の記述がある。内容上，問題が無ければ回答案で対応し，本文の修正は行わない。

## < 第 6 章 >

- ・ 計算数値の不整合等，特に大変な修正点の指摘は無かった。
- ・ 二層ゾーンモデルの解析結果において，下部層が少し下がる性状を指摘された。この原因は，外気温度が室内よりも低いためである。注釈を加える程度の対応とする。

## < 第 7 章 >

- ・ VA とは何かとの指摘に対し，秋月先生から詳しい内容の解説が届いた。その中から抜粋して本文中に記述を加えた。

#### <今後の対応>

・改訂煙本の最新ファイルは、委員会用オンラインストレージの「査読提出用」サーバーにある。

ただし、既に原稿を修正した委員については、手持ちの最終原稿で構わない。

・今後のスケジュールは以下を予定。

・10/24：最終原稿および最終回答書の締切。山田主査にメールで送付する。

なお、回答書の記述は「修正しました」と過去形にする。この作業に対応する前に、山田主査から最新版の回答書が、各章の担当者に送付予定である。

・10/30：次回委員会では原稿の最終チェックを行う。

・年末：紙ベースで校正案が届くので、赤を入れてそのまま返却する。

#### 4. その他

・「関数電卓による火災性状予測計算」の改訂は、火災安全小委員会の下で SWG で検討を進める予定である。しかし、改訂は行わなくても良いのではとの意見もある。

・山口委員が主体となって作業を進めている「性能的避難安全設計のためのガイドライン」は、前回の委員会で討議した内容を次々回以降進める予定である。

---

次回の委員会は、2013年10月30日（水）18:00～20:30まで、本会会議室で開催します。

議題（1）改訂煙本の査読結果への対応

（2）その他話題提供 等

資料を提出される方は、あらかじめサーバーに（委員会用オンラインストレージ）にアップするか、当日準備（14部）して下さい。

・委員会用オンラインストレージ：<http://www.aij.or.jp/commstrage.html>

・利用方法：[http://www.aij.or.jp/jpn/databox/2013/how\\_to\\_use\\_online\\_strage.pdf](http://www.aij.or.jp/jpn/databox/2013/how_to_use_online_strage.pdf)

---